

日大箱根駅伝 第二次黄金時代

第16回大会(1935年)より19回大会(1938年)まで4連覇を果たし、第21回大会(1940年)、第22回大会(1943年)でも連覇するなど、日本大学は第一次黄金時代を迎えます。

その後第33回大会(1957年)、第34回大会(1958年)でも連覇しますが、翌年から中央大学の優勢が続く6連覇を許すこととなります。その中央大学の連覇を止めたのが日本大学でした。第41回大会(1965年)、第43回大会(1967年)、第44回大会(1968年)、そして第50回大会(1974年)にも優勝するなど、日本大学は第二次黄金時代を迎えることになり、数々の名選手を輩出しました。

1967 日大、パーフェクトV

今大会より往路、復路、総合の3賞制が導入された。日大はそのいずれも制し、見事な完全優勝を果たす。

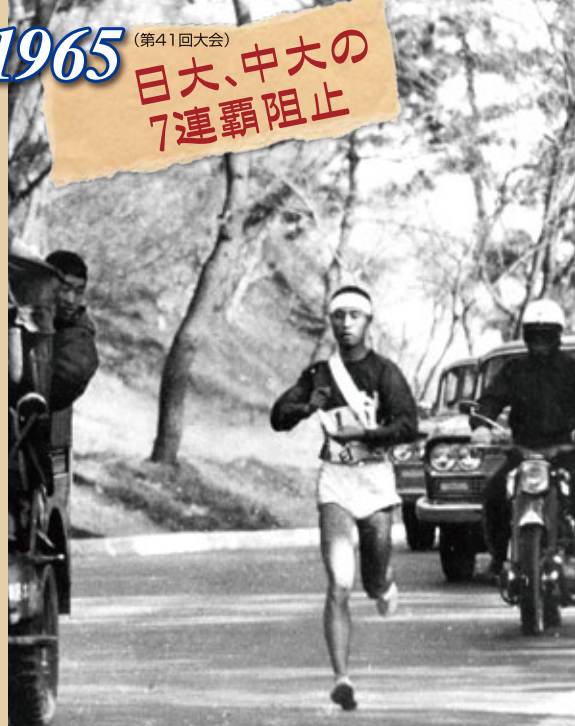
1968 日大、3部門制し11勝目

15校の第一走者が筑波新聞社前を一列にスタート

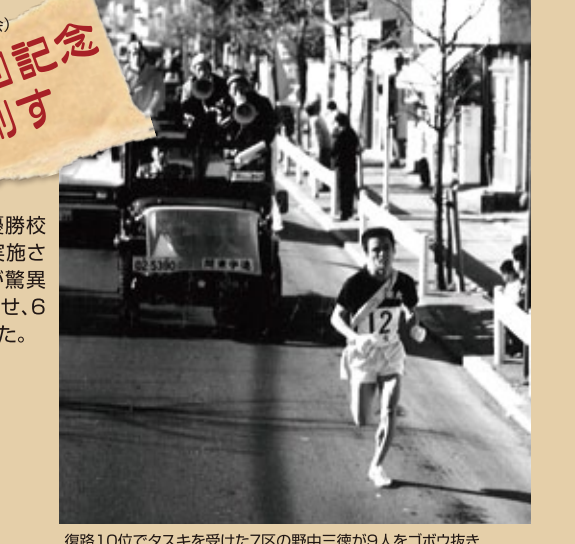
1974 日大、50回記念大会制す

50回を記念して過去の優勝校を招待し20校の参加で実施された大会で、7区の野中が驚異的な9人抜きの大逆転を見せ、6年ぶりの総合優勝を果たした。

日大は8区でいったんは東洋大にトップを譲ったが9区ですくさま逆転。往路、復路、総合の3部門を制し、2連覇を達成した。



3区を熱めた鈴木徳夫(現日大監督)は、中大を3分近くも引越さず活躍を見た3区の鈴木が区間新記録をたたき出すなど、独走態勢に入った日本大学は、見事に中央大学の7連覇を阻み王座に返り咲いた。



区間10位の力走を見たアンカー土谷和夫が歡喜のゴールテープ

第89回東京箱根間往復大学駅伝競走出場校

Table with 3 columns: 予選会突破校 (University, Years, Wins), 日本体育大学 (65 years, 65 wins, 9 wins), 帝京大学 (6 years, 14 wins, 0 wins), etc.

過去88回の優勝校

Table with 4 columns: 回数, 西暦, 優勝校, 回数, 西暦, 優勝校. Lists winners from 1920 to 1999.

戦時中、箱根路が軍用品の輸送などの理由で使用禁止となった昭和16年(1941年)に京大青南館往復大学専門学道駅伝競走大会が行われて見事本学が優勝を果たしております。

第89回箱根駅伝予選会



日本大学校友会 スポーツ振興特別委員会

Table listing sports clubs: 陸上競技部, 水泳部, ボート部, etc. and their respective activities.

日本大学校友会 スポーツ振興特別委員会 http://www.nichidai-sports.jp

Large advertisement for the 89th relay featuring a runner and the slogan 'チーム日大 絆 思いは一つ'.

Advertisement for the Japanese University Athletics Association (陸上競技部) featuring photos of athletes and their profiles.

Advertisement for the 89th relay relay team (第89回箱根駅伝出走候補選手紹介) featuring photos and profiles of relay runners.

Advertisement for the Japanese University Song (校歌) featuring lyrics and a photo of a runner.

